

県アレルギー疾患電話相談の令和2年度の実施状況について <令和2年4月～令和3年3月分>

1 実施状況

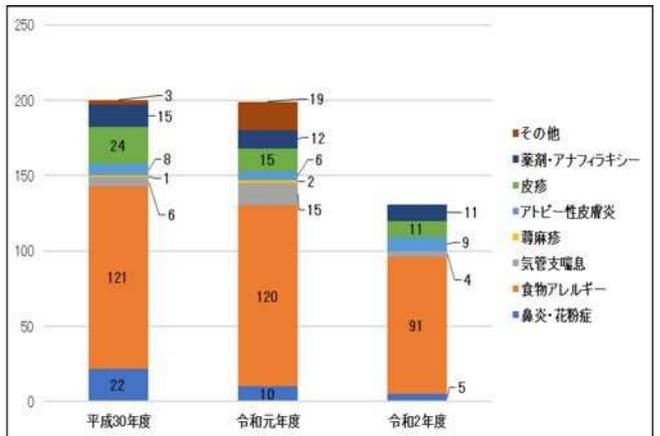
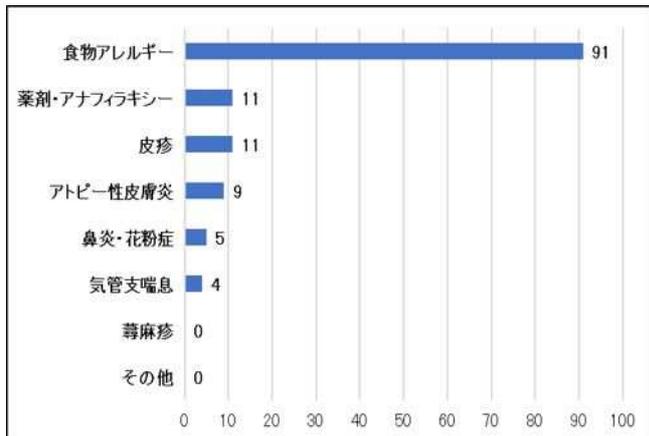
- 事業開始日 平成30年6月1日
- 相談日 月曜日～金曜日(週5日)
- 開設時間 午後1時～4時

※なお、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年5月1日から6月30日まで中止していた。

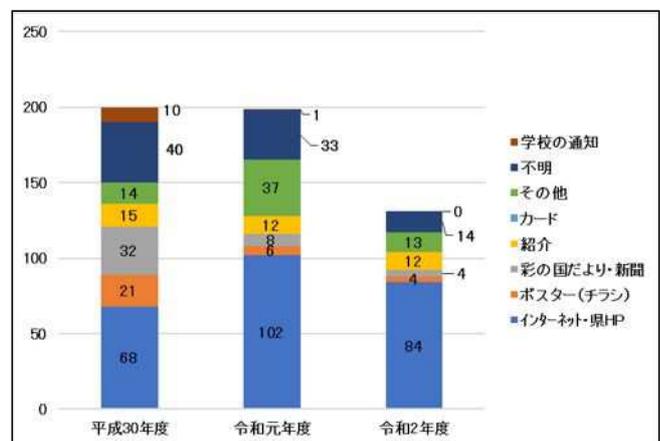
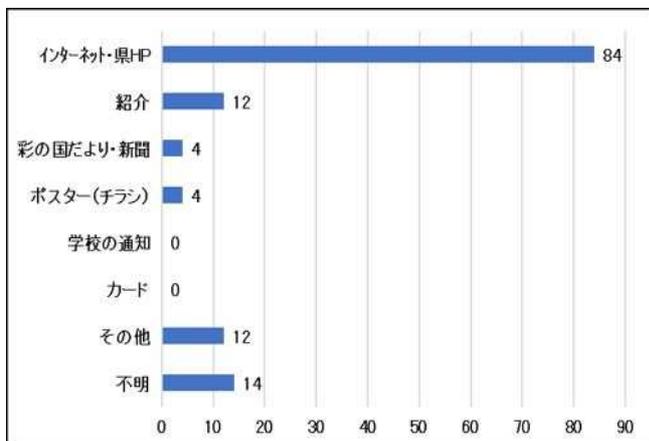
2 実施結果

- (1) 集計期間 令和2年4月～令和3年3月(令和2年5月及び6月は除く。)
- (2) 相談件数 131件(1月あたり平均:13.1件)
- (3) 相談の内容等

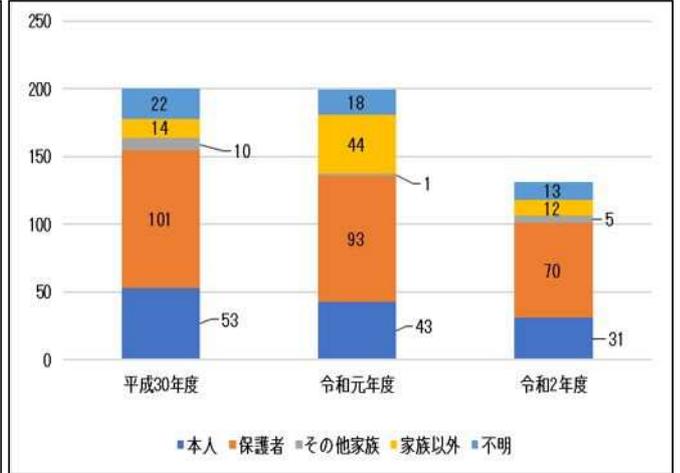
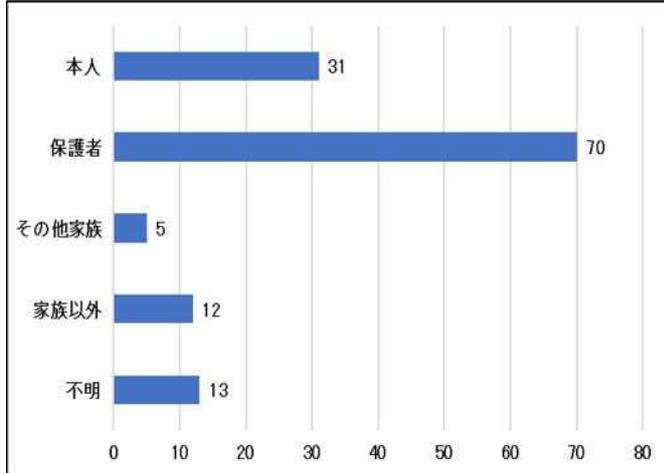
ア、疾患別相談状況



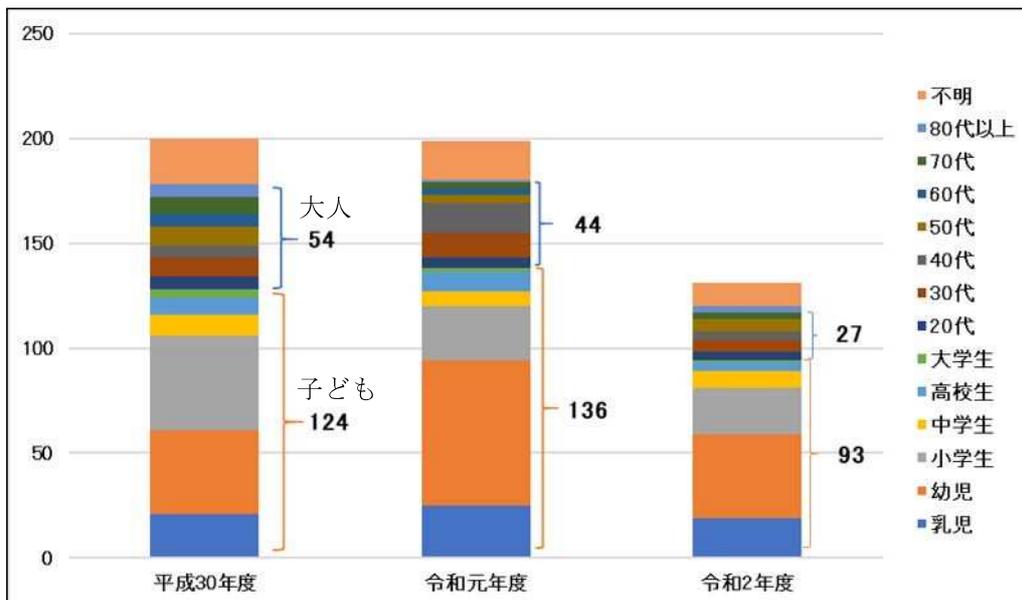
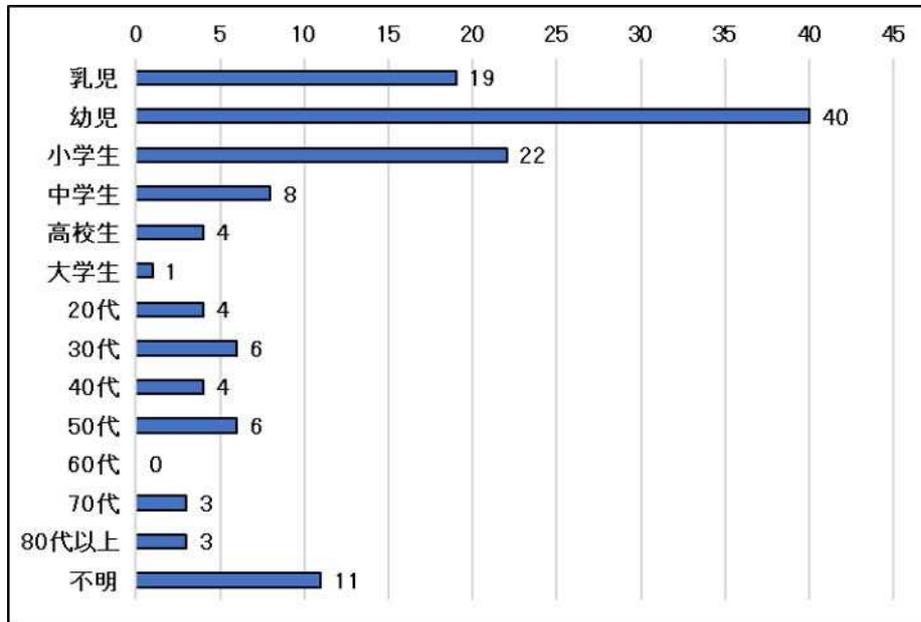
イ、相談のきっかけ



ウ、相談者の本人との関係（単位：件）



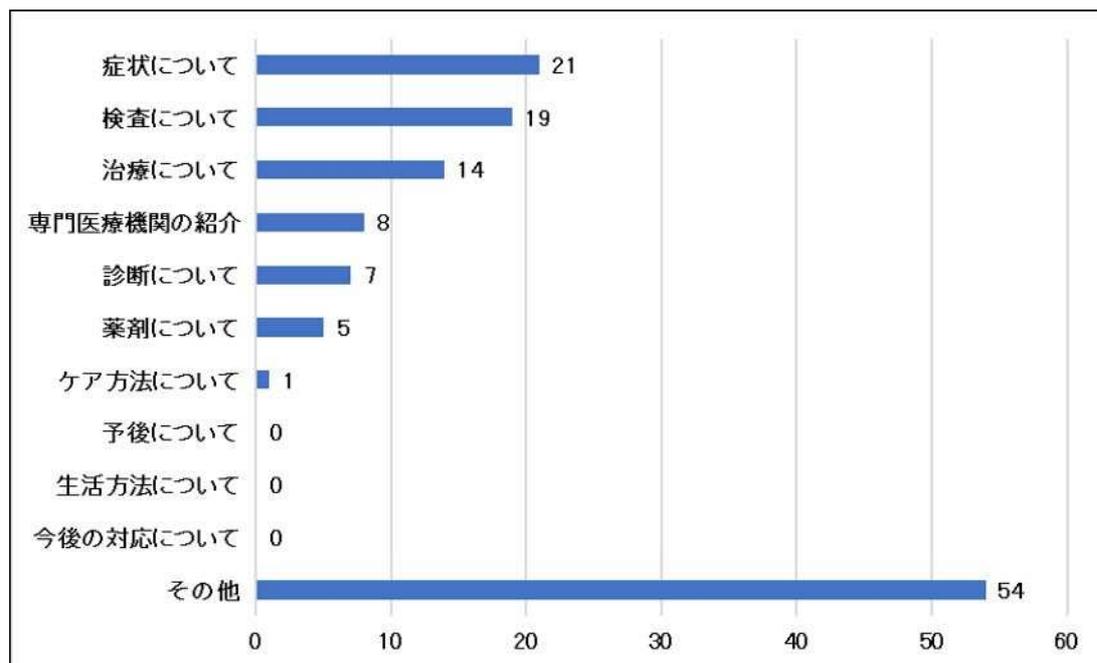
エ、患者の年代（単位：件）



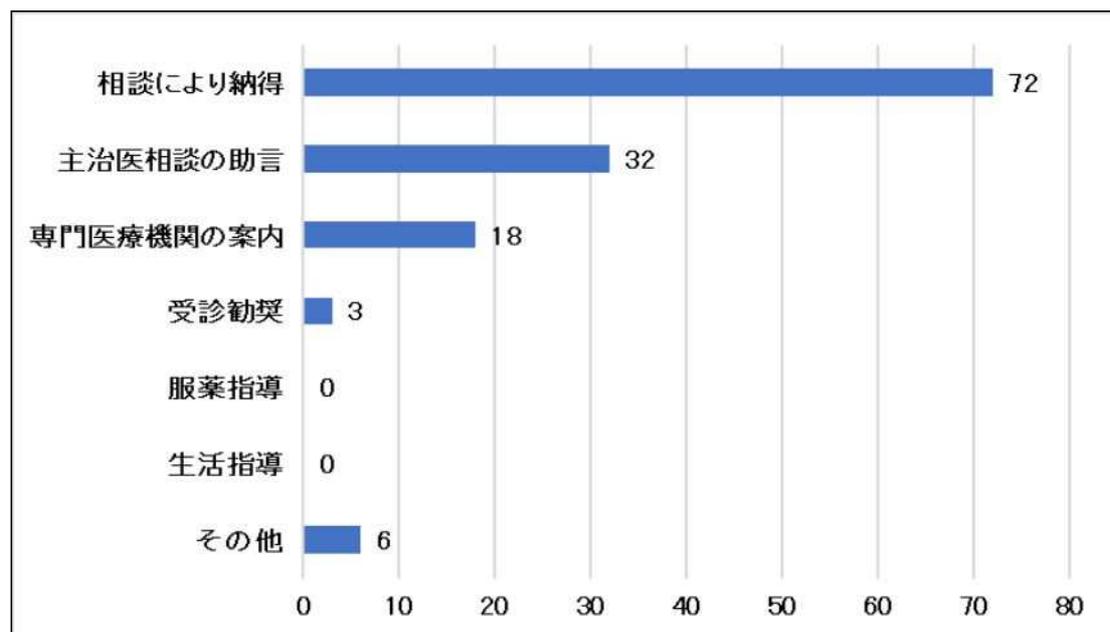
	子ども		大人	
	件数	割合	件数	割合
平成30年度	124	69.7%	54	30.3%
令和元年度	136	75.6%	44	24.4%
令和2年度	93	77.5%	27	22.5%

※高校生までを子どもとして区分している

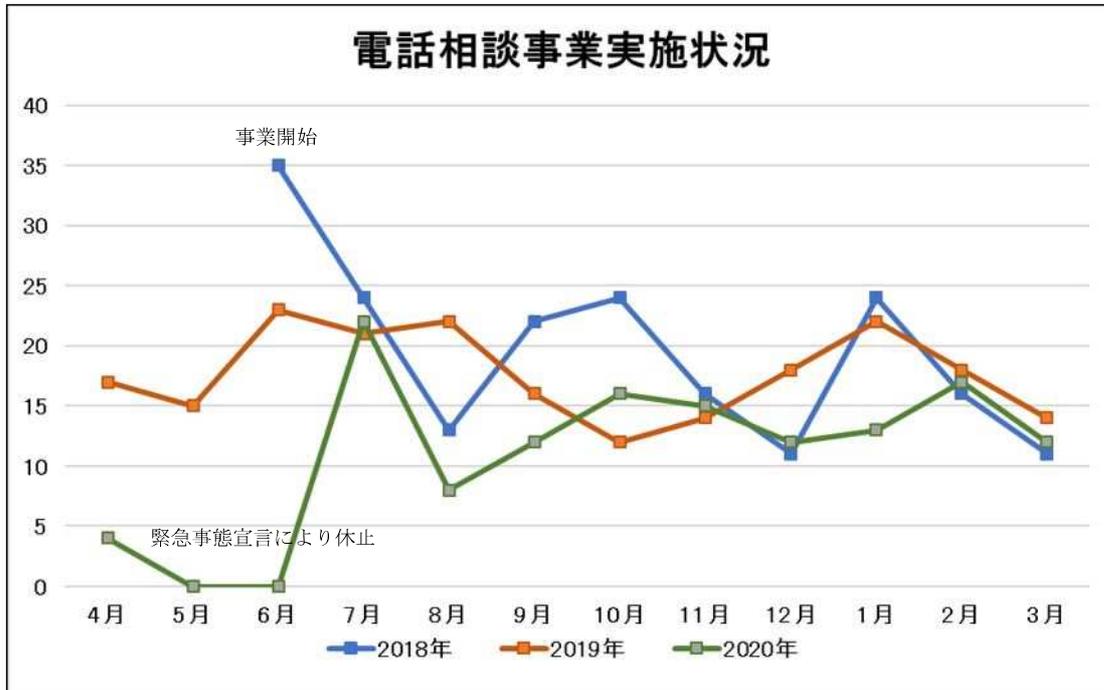
オ、相談内容



カ、相談結果



キ、月別件数推移（事業開始～）



ク、相談例

- 子供が乳児期より乳アレルギーである。今年の春から幼稚園に入園予定だがこのまま入園しても大丈夫か。(幼児の母)
- 20代の娘が食物やダニ、スギ等のアレルギーである。動物関連の仕事に就きたいが将来的に治る見込みはあるのか。(娘の親)
- アレルギーの既往がある娘が今年の春から別の保育園に転園し、園医から大きな病院での診察を勧められた。一方かかりつけの病院が既にあり、小児科及びアレルギー科の医師が診てくれている。別病院での診察の必要はあるか。(娘の親)